

令和7年 労働者死傷病報告受理件数表

令和7年10月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		1 94	2 211	35	180	20	31	3	3 574	1 617	2 -43
	食料品製造業	34	83	7	33	6	6		169	193	-24
建 設 業		40	56	9	24	6	8	7	150	159	-5 -9
	木造家屋等 建築工事業	2	9	1	3		1	2	18	25	-7
運 輸 交 通 業		28	123	12	1 67	5	6	3	1 244	6 282	-5 -38
	道路貨物運送業	24	119	12	63	4	6	3	231	6 269	-6 -38
林 業			1	3		1 1			1 5	11	1 -6
小 売 業		54	108	20	36	15	5	3	241	1 211	-1 30
社会福祉施設		39	59	19	23	7	6		153	166	-13
接 客 娛 楽 業		17	35	4	22	1 22	1 3	21	2 124	1 139	1 -15
	飲 食 店	12	18	3	13	3	1	2	52	71	-19
上記以外の事業		2 99	2 185	18	64	21	17	18	4 422	1 438	3 -16
	清掃・と畜業	22	39	5	9	5	2	3	85	1 83	-1 2
計		3 371	4 778	120	1 416	2 97	1 76	55	11 1,913	15 2,023	-4 -110
前 年 同 期		3 398	2 798	1 123	4 459	2 106	2 72	1 67	15 2,023		
増 減		-27	2 -20	-1 -3	-3 -43	-9	-1 4	-1 -12	-4 -110		

災害の種類別

災害の種類別・署別		高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の 型別	墜落・転落	1 40	1 120	20	50	1 14	1 8	12	4 264	7 306	-3 -42
	転倒	129	201	34	105	30	21	19	539	496	43
	はさまれ・ 巻き込まれ	46	88	13	60	9	10	2	228	1 239	-1 -11
	切れ・こすれ	16	55	5	27	10	4	1	118	125	-7
	動作の反動・ 無理な動作	42	132	20	71	12	13	9	299	338	-39
起因物 別	建設機械等	3	1 14		4		1	2	1 24	1 14	10
	食品加工用機械	2	19		3		1	1	26	31	-5
	トラック	18	56	5	32	1	3	3	118	5 162	-5 -44
外国人の災害		19	78	7	71	10	5	1	191	187	4
建設公共工事の災害		6	9	1	3	1	2	2	24	1 24	-1

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

別表 新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害発生状況（業種別内訳）

令和7年10月末
群馬労働局

業 種	令和7年	令和6年	対前年
	死傷者数（人）		増減（人）
製造業	2	1	1
鉱業			0
建設業			0
交通運輸事業			0
陸上貨物運送事業			0
港湾運送業			0
林業			0
農業・畜産・水産業			0
商業	3	3	0
うち小売業	3	2	1
金融・広告業			0
通信業			0
保健衛生業	81	286	-205
うち医療保健業	21	132	-111
うち社会福祉施設	60	154	-94
接客娯楽業		2	-2
うち飲食店	2	2	0
清掃・と畜業			0
警備業			0
その他	0	0	0
全業種計	86	292	-206

※ 労働者死傷病報告により作成

令和 7 年 死亡災害事例

令和 7 年 10 月 末 日 現在
群 馬 労 働 局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年 齢 職 種	災 害 の あ ら ま し	業 種	事故の型別	起因物別
1	1 月 11時頃 30～49人	60歳代 警備員	市道沿いの工事現場で交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽乗用車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バス・バイク
2	2 月 13時頃 1～9人	40歳代 作業員	かかり木となっていた胸高直径35cm、樹高18mの檜の木を処理するため、かかられている桜の木をチェーンソーで伐倒したところ、檜の木が予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
3	4 月 8時頃 100～299人	70歳代 作業員	スキー場でコースを点検中(最大傾斜32°)の被災者が、コース内をうつ伏せに倒れて滑り落ちている様子をリフト係員が発見し、平地で止まった被災者に同係員が声をかけるも意識はなく、医療機関に搬送されたが死亡した。	その他の 接客娯楽業	2メートル以上からの 墜落・転落	その他の 環境等
4	5 月 16時頃 30～49人	40歳代 作業員	工場内の中天井に上がり移動していたところ、明かり取りのウレタンボードを踏み抜き、6.7m下のコンクリート床に激突した。	その他の 金属製品製造業	2メートル以上からの 墜落・転落	その他の 仮設物、建築物、構築物等
5	7 月 21時頃 1～9人	60歳代 運転手	随伴車両で乗客を追走中、道路わきの電柱に激突した。	その他の 道路旅客運送業	交通事故	乗用車、バス、バイク
6	7 月 8時頃 10～49人	40歳代 作業員	化学工場の設備の点検のため、設備の屋上（高さ26.0m）にて作業中に墜落した。	その他の 卸小売業	2メートル以上からの 墜落・転落	作業床、歩み板
7	8 月 4時頃 300～499人	20歳代 作業員	化学物質の製造ラインにおいて、当該物質を加圧する加圧槽の配管が何らかの原因により爆発し、巻き込まれた労働者Aが熱傷性ショックにより死亡した。	無機・有機化学 工業製品製造業	爆発	圧力容器
8	9 月 20時頃 50～99人	50歳代 警備員	高速自動車道の道路補修現場において、工事車両の誘導を行っていた被災者が、後進してきたダンプトラックに激突され死亡した	警備業	交通事故	トラック
9	9 月 17時頃 10～49人	40歳代 作業員	事業場敷地内の砕砂ストックヤードにおいて、下部に設置されたホッパーに砂を落とす作業を行っていたところ、被災者が堆積された砂上から滑り落ち、砂に埋もれ死亡した。	セメント・ 同製品製造業	崩壊・倒壊	石、砂、砂利
10	9 月 10時頃 10～49人	50歳代 作業員	事業場敷地内の鶏糞処理作業場において、トラックを運転中に壁に激突させたため、確認のためにトラックから降りたところ、後進してきたホイールローダに激突された。	畜産業	激突され	整地・運搬・ 積み込み用機械

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年 齢 職 種	災 害 の あ ら ま し	業 種	事故の型別	起因物別
11	10月 15時頃 10～49人	60歳代 作業員	ゴルフ場内のカート通路において、立木の枝切作業を行うため三脚脚立（高さ3.47m）を使用して作業していたところ、何らかの原因によりバランスを崩し、地面に転落した。	ゴルフ場	2メートル以上からの墜落・転落	脚立

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。